

地域ぐるみで松くい虫被害拡大防止（連絡会議を設置）

1 気仙地区松くい虫被害対策 連絡会議の設置

森林管理署を含む管内行政機関や林業関係機関が参加し、松くい虫被害の先端地域において、国有林と民有林が連携し、戦略的防除を実施するため、気仙地区松くい虫被害対策連絡会議（以下「連絡会議」）を設置しました。



図-1 第2回意見交換会
の講演

2 設置に向けた取り組み

設置に当たり、平成24年9月5日（第1回）、11月30日（第2回）、平成25年2月5日（第3回）に、気仙地方林業振興協議会、大槌・気仙川流域森林・林業活性化センター、大船渡農林振興センターの共催で、松くい虫防除対策意見交換会を開催しました。

第1回意見交換会では、松くい虫被害のメカニズムについての講演、第2回意見交換会では、

震災後の防除対策の方法等についての講演を行うとともに、防除対策の課題等について意見交換を行いました。（図-1）

意見交換の結果を踏まえ、地域での被害対策のあり方を検討した結果、連絡会議を設置することとなり、第3回意見交換会を開催した時に連絡会議を設置しました。

3 連絡会議の開催

連絡会議を平成25年3月13日（平成24年度第1回）と4月10日（平成25年度第1回）に開催しました。

3月の連絡会議では、松くい虫被害木の発見から駆除完了に至る業務の流れについて再確認を行うとともに、国有林と民有林の情報共有方法について併せて検討を行いました。

4月の連絡会議では、各市における松くい虫駆除事業を実施するうえでの課題等の報告や復興に係るアカマツの伐採への対応方法について意見交換等を行いました。

4 今後の予定

今後も防除事業を円滑に実施するため、協議会を定期的で開催する予定です。